



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場取引所 東 大 札

上場会社名 日本製粉株式会社

コード番号 2001 URL <http://www.nippon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小寺 春樹

問合せ先責任者 (役職名) 理事 広報部長

(氏名) 満生 潔

TEL 03-3350-3900

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	204,556	0.9	7,028	△7.9	7,893	△4.0	4,794	△2.3
24年3月期第3四半期	202,798	6.5	7,630	△7.7	8,224	△3.4	4,907	△12.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 4,924百万円 (47.0%) 24年3月期第3四半期 3,349百万円 (18.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	28.98	—
24年3月期第3四半期	29.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	202,097	107,224	52.2
24年3月期	202,904	104,450	50.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 105,395百万円 24年3月期 102,271百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
25年3月期	—	5.00	—		
25年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	273,000	1.5	9,500	△1.4	10,000	△2.1	6,300	1.0	38.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	170,148,018 株	24年3月期	170,148,018 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	4,740,903 株	24年3月期	4,725,589 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	165,415,051 株	24年3月期3Q	166,821,285 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により、緩やかに持ち直す傾向が見られたものの、欧州の景気後退や新興国の成長鈍化等により、先行き不透明な状況のまま推移しました。

食品業界におきましても、デフレが継続する中で消費が冷え込み、販売競争が激化するなど厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは事業環境の変化に柔軟に対応するとともに、昨年4月からスタートした中期経営計画「SG130 フェーズⅡ」に着実に取り組んでおります。「SG130 フェーズⅡ」の施策は順調に進んでおり、製粉事業では、当社神戸甲南工場の原料穀物サイロ及び新製粉ラインが完成し、本格稼働しております。また、さらなるコスト競争力強化のため、当社の原料小麦保管能力を現状の20万トンから50%増の30万トンに引き上げることを計画しております。その一環として、当社千葉工場の保管能力を2万5千トン増強する原料穀物サイロ増設工事を着工いたしました。

食品事業では、ニッポン冷食㈱高崎工場の竜ヶ崎工場への生産設備の移転・集約化工事が完了し、本格稼働しています。

また、タイの洪水で被災したニッポン（タイランド）社のプレミックス工場は生産を再開し、フル稼働体制に戻りました。

以上により、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高2,045億5千6百万円（前年同期比100.9%）、営業利益70億2千8百万円（同92.1%）、経常利益78億9千3百万円（同96.0%）、四半期純利益47億9千4百万円（同97.7%）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①製粉事業

外国産小麦の政府売渡価格が昨年4月から引き下げられたことを受け、当社は7月に小麦粉販売価格の引き下げ改定を行いました。10月には政府売渡価格が引き上げられたことから、12月より小麦粉販売価格の引き上げ改定を行っております。

このような激動する環境下で当社グループは食の安全・安心志向に対応すべく、品質管理の強化に努めるとともに、お客様のニーズに合わせた新商品の開発、技術講習会の開催、提案営業の推進など、活発な営業活動を展開しましたが、小麦粉の売上高は前年同期を下回りました。一方、副製品のふすまの売上高は前年同期を上回りました。

以上により、製粉事業の売上高は730億5千6百万円（前年同期比96.7%）、営業利益は19億2千万円（同60.2%）となりました。

②食品事業

業務用では、各種展示会への出展、料理技術講習会の開催等、積極的なマーケティング活動を展開しました。その結果、プレミックス類等の販売が国内外ともに好調に推移し、売上は前年同期を上回りました。

家庭用グロサリー商品では、「お客様ニーズ」と「キッチンの不満解消」をテーマに、全てのお客様にご満足いただける商品の開発を目指し、調理時間・工程を短縮するだけでなく、更にメニューの幅を広げる商品を展開しましたが、売上は前年同期を下回りました。

冷凍食品類は、家庭用的高级パスタ「オーマイプレミアム」のラインアップ追加やワンランク上の「オーマイプレミアムゴールド」シリーズ、大盛り「Bigシリーズ」の新商品・リニューアル品の投入及び販売促進活動を展開した結果、売上は前年同期を上回りました。

また、中食事業の売上高も前年同期を上回りました。

以上により、食品事業の売上高は1,108億5千8百万円（前年同期比104.4%）、営業利益は49億3千3百万円（同117.9%）となりました。

③その他事業

ヘルスケア事業及びエンジニアリング事業の売上高は前年同期を上回りましたが、ペットケア事業の売上高は前年同期を下回りました。

以上により、その他事業の売上高は206億4千1百万円（前年同期比97.9%）、営業利益は1億8千9百万円（同48.3%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産残高は、前連結会計年度末に比べ8億7百万円減少し、2,020億9千7百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が42億7千7百万円増加したこと、原材料及び貯蔵品が47億4千万円減少したことによるものです。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ35億8千1百万円減少し、948億7千2百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が45億3千3百万円減少したことによるものです。

純資産の残高は、前連結会計年度末と比べ27億7千3百万円増加し、1,072億2千4百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が28億4百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年11月2日に公表いたしました通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1億4千9百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,903	10,164
受取手形及び売掛金	40,219	41,518
有価証券	200	—
商品及び製品	12,615	11,904
仕掛品	103	61
原材料及び貯蔵品	18,102	13,361
その他	3,931	3,193
貸倒引当金	△144	△104
流動資産合計	84,931	80,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,476	30,072
機械装置及び運搬具（純額）	16,169	20,274
土地	25,368	25,522
建設仮勘定	4,374	651
その他（純額）	1,834	1,980
有形固定資産合計	74,223	78,501
無形固定資産		
のれん	966	760
その他	724	743
無形固定資産合計	1,690	1,503
投資その他の資産		
投資有価証券	36,388	36,847
その他	6,530	5,462
貸倒引当金	△859	△316
投資その他の資産合計	42,059	41,993
固定資産合計	117,973	121,998
資産合計	202,904	202,097

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,322	19,788
短期借入金	18,531	26,521
未払法人税等	1,610	702
賞与引当金	445	182
役員賞与引当金	50	—
その他	18,407	20,431
流動負債合計	63,367	67,626
固定負債		
長期借入金	22,592	14,235
退職給付引当金	2,350	2,466
役員退職慰労引当金	1,048	1,020
その他	9,094	9,523
固定負債合計	35,086	27,246
負債合計	98,453	94,872
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,240	12,240
資本剰余金	10,666	10,666
利益剰余金	72,855	75,660
自己株式	△1,577	△1,577
株主資本合計	94,185	96,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,383	8,643
繰延ヘッジ損益	2	26
為替換算調整勘定	△300	△263
その他の包括利益累計額合計	8,085	8,405
少数株主持分	2,179	1,829
純資産合計	104,450	107,224
負債純資産合計	202,904	202,097

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	202,798	204,556
売上原価	151,188	152,188
売上総利益	51,610	52,367
販売費及び一般管理費	43,979	45,339
営業利益	7,630	7,028
営業外収益		
受取利息	24	26
受取配当金	809	848
持分法による投資利益	142	57
その他	452	533
営業外収益合計	1,429	1,466
営業外費用		
支払利息	457	442
為替差損	151	—
その他	226	159
営業外費用合計	835	601
経常利益	8,224	7,893
特別利益		
投資有価証券売却益	402	300
固定資産売却益	45	481
事業譲渡益	58	—
特別利益合計	506	782
特別損失		
投資有価証券評価損	176	250
固定資産除売却損	100	169
減損損失	111	—
事業構造改善費用	231	96
工場集約関連費用	200	—
災害による損失	72	—
その他	113	111
特別損失合計	1,007	627
税金等調整前四半期純利益	7,722	8,048
法人税、住民税及び事業税	2,812	2,360
法人税等調整額	127	1,122
法人税等合計	2,940	3,482
少数株主損益調整前四半期純利益	4,782	4,565
少数株主損失(△)	△124	△229
四半期純利益	4,907	4,794

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,782	4,565
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,298	298
繰延ヘッジ損益	△9	23
為替換算調整勘定	△118	36
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	0
その他の包括利益合計	△1,432	359
四半期包括利益	3,349	4,924
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,438	5,114
少数株主に係る四半期包括利益	△89	△189

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	75,540	106,176	181,716	21,081	202,798	—	202,798
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,732	965	2,697	3,512	6,210	△6,210	—
計	77,272	107,141	184,414	24,594	209,008	△6,210	202,798
セグメント利益	3,188	4,185	7,373	392	7,765	△135	7,630

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△135百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	73,056	110,858	183,914	20,641	204,556	—	204,556
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,560	410	1,971	1,972	3,944	△3,944	—
計	74,616	111,269	185,886	22,614	△208,500	△3,944	204,556
セグメント利益	1,920	4,933	6,854	189	7,043	△14	7,028

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△14百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。